

大関のこども



坂井市立大関小学校

学校だより第22号

令和3年10月21日

HPアドレス



<http://www.ozeki.ed.jp>

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果から見た大関小学校児童の姿

児童生徒の学力を把握する目的で毎年実施されている全国学力・学習状況調査は、昨年度は実施されませんでした。今年度は5月に小学校6年生と中学校3年生を対象に実施されました。福井県は全国トップクラスの学力を維持し、大関小学校の平均正答率は、県や全国の平均を大きく上回っています。

今年度の調査の結果からわかる本校児童の概要を2回に分けてお知らせいたします。学校では、今回の結果をもとにさらなる教育活動の工夫と改善に取り組んでまいります。ご家庭におかれましても、分析結果を参考にいただき、生活習慣や学習習慣の改善にお役立ていただければ幸いです。

1 教科に関する調査結果

【国語・算数 平均正答率比較】

	国語	算数
福井県との比較	○	○
全国との比較 (%)	◎	◎

全国や県平均と比較して、

- ・ 5ポイント以上上回っている…5≧◎
- ・ 上回っている…0<○<5
- ・ 下回っている…△<0

【国語・算数 領域・問題形式別 正答率比較】

教科	国語								
	学習指導要領の内容				評価の観点		問題形式		
区分	言語	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式
県との比較	◎	△	○	△	◎	△	○	◎	△
全国との比較	◎	○	◎	△	◎	○	◎	◎	△

教科	算数									
	学習指導要領の領域					評価の観点		問題形式		
区分	数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式
県との比較	○	△	◎	△	◎	○	◎	○	△	◎
全国との比較	◎	◎	◎	△	◎	○	◎	○	○	◎

全体的にみると、国語・算数ともに県・全国平均を上回る結果となりました。学習内容の領域別にみると、国語では「言語」、算数では「測定」「データの活用」の領域が大変良好です。しかし、国語では「話すこと・書くこと」「読むこと」に、算数は「図形」「変化と関係」に課題が見られました。問題形式別では、国語の「短答式」、算数の「記述式」は良好ですが、国語の「記述式」が特に苦手であることが分かりました。

国語

- ◎文を読んで、漢字を正しく使う力や、修飾と被修飾との関係を捉える力が特に優れています。
- ◎自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考えたり、目的や意図に応じ、資料を使って話したりする力が優れています。
- ▲資料を読み、目的に応じ、文章と図表とを結びつけて必要な情報を見つけたり、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約したりする問題に課題が見られました。

算数

- ◎帯グラフで表された複数データを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述するかに優れています。
- ◎条件に合う時刻を求めたり、棒グラフから項目間の関係を読み取ったりする技能が身についています。
- ▲速さを求める除法の式と商の意味を理解したり、速さと道のりをもとに、時間を求める式に表したりすることに課題が見られました。
- ▲複数の図形を組み合わせた平行四辺形について図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述することが苦手です。
- ▲商が1より小さくなる等分除（整数）÷（整数）の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算をすることが苦手です。

今回の結果を踏まえてこれから力を入れて取り組んでいくこと

国語

- ・朝読書の時間は一日10分、一週間で50分の読書をし、読書量を増やします。
- ・文章を書くときに、条件や視点を与えて、簡潔に書く練習をします。
- ・文の構成や意味を適切に読み取る力をつけるために、読む練習を繰り返し行い、文章の概要をつかめるようにしていきます。筆者の考えとその根拠を捉えられるようにしていきます。
- ・目的に応じて、必要な情報を見つけながら読む際には、付箋を貼ったり、線を引いたり、丸で囲んだり、表などに情報を整理したりしながら読むように学習を進めます。
- ・授業中に意識して「上手な聴き方」を実践し、話を聞くことから、話し方や書き方を身につけていけるように指導します。

算数

- ・文章問題の理解を深めるために、絵や図を書いてから立式して問題を解くようにしていきます。
- ・身近な生活体験や具体物の操作活動などを授業に取り入れ、数量を体感的に理解する活動を増やします。具体物だけでなく、タブレットを用いて画面上でも操作活動を行います。
- ・総合的な学習の時間の活動や児童会活動など、日常生活の場面でも、目的に応じてデータを集め、分類整理して問題を解決する活動を行います。
- ・新規学習の児童の助けとして、既習学習の内容も復習しながら学習を進めていきます。
- ・自分で考えてから、友達に考え方ややり方を話したり、聞いたりする活動をしながら、思考を深めていけるような学習活動を行っていきます。

※次回号では、生活習慣や学習状況等に関する調査結果についてお知らせいたします。